

令和3年度「予算決定」のお知らせ

令和3年度予算案が、令和3年2月15日開催の第80回組合会において承認されましたので、その概要をお知らせいたします。

- ◇ 一般勘定（健康保険）令和3年度予算規模 1,510,542,000 円
(内経常赤字予算額 271,932,000 円)
- ◇ 介護勘定（介護保険）令和3年度予算規模 170,004,000 円

■ 一般勘定

一般保険料率は令和3年度も料率改定をしない予算編成をおこないました。
余裕のある組合運営ではありませんが、一般保険料率90/1000と変更ありません。

収入について、総額は15億1,054万円といたしました。

内訳としては、健康保険料収入11億7,036万円、調整保険料収入1,740万円、国庫補助金収入50万円、高額医療交付金を750万円、雑収入73万円を見込んでいます。

また別途積立金3億1,405万円を取り崩して令和3年度の収入として繰入れ、令和2年度の残金は令和3年7月の決算残金処分時に積み立てて財産とする予定です。

支出では、令和3年度の保険給付費予算を令和2年度予算と同様に設定し、6億8,950万円としています。

納付金については支払予想額が上がり、支出予算は9,000万円の増加となりました。
なお、支出予算総額のうち納付金の占める割合は39%となっています。

また人間ドック、家族健診を中心とした「保健事業費」は1億1,360万円と、令和2年度決算見込額を参考にして、令和2年度予算に比べるとやや金額を圧縮していますが、皆さんの健康増進をより一層はかれるように、管理事業を進められる予算を確保しています。

■ 介護勘定

介護勘定は令和2年度予算に対して、101.8%となる1億7,000万4千円の予算といたしました。

介護勘定は令和3年度以降の「介護納付金」額増加が見込まれるために、保険料率を17/1000から19/1000にアップしました。

一般勘定のように「積立金」を持たない介護勘定では、納付金が増額されると保険料率を上げて支払えるようにするしか手段がありません。

現在の社会状況を鑑みるに、今後も介護保険料は増加していくのではないかと予想されます。

令和3年度 予算概要

<<一般勘定>>

収入		支出	
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)
保険料収入	1,170,361	事務費	45,185
調整保険料収入	17,400	保険給付費	689,503
繰越金	0	納付金	593,022
繰入金	314,050	保健事業費	113,621
国庫補助金収入	503	還付金	320
特定健診等事業収入	3	営繕費	100
財政調整事業交付金	7,500	財政調整事業拠出金	17,400
雑収入・他	725	連合会費	850
		積立金	300
		雑支出・他	102
		予備費	50,000
収入合計	1,510,542	支出合計	1,510,542
經常収入合計	1,171,089	經常支出合計	1,443,021

<<介護勘定>>

収入		支出	
科目	予算額(千円)	科目	予算額(千円)
保険料収入	160,000	介護納付金	150,000
繰越金	10,000	介護保険料還付金	100
繰入金	0	積立金	0
雑収入・他	4	予備費	19,904
収入合計	170,004	支出合計	170,004